

平成30年4月

市長定例記者会見次第

1. 日 時：平成30年4月13日（金） 14：30～ （約1時間）
2. 場 所：405会議室
3. 出席者：市長、関係局長ほか
4. 案 件
 - (1) 金沢ゲストハウスサービス懇話会の開催について（資料番号1）
 - (2) 金沢ナイトコンシェルジュ懇話会を設置します。
～金沢の新たな夜の魅力を発掘～（資料番号2）
 - (3) スポーツ文化の推進について（資料番号3）
 - ①「金沢市スポーツ文化推進条例」に関するPR動画
 - ②「金沢市役所アスリートクラブ」の創設と日本陸連への選手登録
 - ③音楽とスポーツのコラボレーション事業
遊学館高校吹奏楽部が地元プロスポーツの試合会場でマーチングを披露
 - ④アウェイサポーター歓迎についての意見交換会
 - (4) 学生サポートアプリ「かなざわ学サポ」の充実について
～若者の消費被害の防止のため、消費トラブルのコンテンツを追加～（資料番号4）
 - (5) 金沢へのロケ地誘致を強化します。（資料番号5）
 - (6) 人と動物が幸せに暮らすための動物愛護の推進
～犬猫の「殺処分ゼロ」をめざして～（資料番号6）
 - (7) 不妊治療に対する支援を拡充します。（資料番号7）

市長定例記者会見資料

金沢ゲストハウスサービス懇話会の開催について

1. 目的

簡易宿所の経営者からなる懇話会を設立し、金沢の歴史・伝統文化や市民生活を体験できるようなサービスについて検討し、その成果を他の簡易宿所や住宅宿泊事業法に基づき新たに民泊サービスを始める経営者に発信することにより、市民生活と調和した宿泊サービスの普及促進を図る。

2. 委員

座長：林佳奈氏（株式会社こみんぐる 代表取締役）

※市内に KANAZAWA 旅音など 5 軒のゲストハウスを運営し、地域と協力しながら金沢を暮らすような旅を提案

(50 音順 敬称略)

氏名	施設名
あだち やすお 足立 泰夫	金沢湯涌ゲストハウス
はまだ あやこ 濱田 綾子	金沢ゲストハウス Nagonde
はやし かな 林 佳奈	KANAZAWA ^{たびね} 旅音
ほらだ ともこ 原田 智子	THE SHARE HOTELS HATCHi Kanazawa
よこかわ まさき 横川 雅喜	ゲストハウス Pongyi
よしおか たくや 吉岡 拓也	Good Neighbors Hostel

3. 開催日時

第 1 回 平成 30 年 4 月 25 日（水）10:00

4. 場所

KANAZAWA 旅音（金沢市小橋町 2 - 7）

5. 内容

- ・金沢らしい宿泊サービスのあり方の検討
（年度内に 4 回開催予定）
- ・第 1 回目において山野市長より委員を委嘱

市長定例記者会見資料

金沢ナイトコンシェルジュ懇話会を設置します。

～金沢の新たな夜の魅力を発掘～

1. 目的

夜の観光や魅力に精通した各業界の方を構成員とした懇話会を設立し、金沢の夜の観光の発掘や発信のあり方を検討し、外国人富裕層の誘客や滞在型観光を推進する。

2. 委員

座長：近田玲子氏（国際照明デザイナーズ協会会員）

※住宅から都市に至る幅広い分野の建築照明、環境照明を手がける。

代表作 東京芸術劇場改修、九州国立博物館、目黒雅叙園、
金沢城公園・玉泉院丸庭園、浅野川橋梁照明

コメンテーター：小島久枝氏（レ・クレドール ジャパン正会員）

※「レ・クレドール」は、1929年にフランスで発足したホテルのコンシェルジュのネットワークであり、45の国、約4,000名の会員により構成。レ・クレドール ジャパン正会員は30名、小島氏は日本海側で唯一選出

氏名	所属・役職等
うめむら みつお 梅村 光男	石川県社交料飲生活衛生同業組合 理事長
かたに はちろう 蚊谷 八郎	石川県伝統産業振興協議会 会長
こじま ひさえ 小島 久枝	ホテル日航金沢 チーフコンシェルジュ
こま い たかゆき 小間井 隆幸	(株)プロパティマネジメント片町 代表取締役
ちかだ れいこ 近田 玲子	(株)近田玲子デザイン事務所 代表
つば いちろう 鰐 一郎	(株)つば甚 監査役
なかむら たけし 中村 驍	金沢東山・ひがしの町並と文化を守る会 会長
ば ば はなこ 馬場 華幸	(株)見城亭 専務取締役
ほそだ だいぞう 細田 大造	金沢市副市長

3. 開催日時

第1回 平成30年5月9日（水）13:00（開催場所未定）

4. 内容

- ・金沢の夜の観光の発掘や発信のあり方を検討（年度内に3回開催予定）
- ・第1回目において山野市長より金沢ナイトコンシェルジュを委嘱

市長定例記者会見資料
スポーツ文化の推進について

1. 「金沢市スポーツ文化推進条例」に関するPR動画

「金沢市スポーツ文化推進条例」の施行にあわせ、「する」スポーツのみならず、「観る」、「支える」、「応援する」、「語る」スポーツをイメージできるPR動画が完成した。

今後、金沢市公式 YouTube チャンネルからの発信のほか、関係団体等への提供を通じて、市民の皆さんへの周知を図っていく。

2. 「金沢市役所アスリートクラブ」の創設と日本陸連への選手登録

本市役所に「金沢市役所アスリートクラブ」を創設し、今後、その活動を通じて、率先してスポーツ文化を推進していく。

部員：24名

（うち6名が「金沢市役所アスリートクラブ」として日本陸連に登録）

代表：中山 潔（農業委員会事務局長）

3. 音楽とスポーツのコラボレーション事業

地元プロスポーツチームと連携し、ホームゲーム開催時に市内音楽団体や高校吹奏楽部等による演奏を披露し、地元チームの応援機運を盛り上げるとともに、音楽団体等の活動を広く発信する。

第1回目は「金沢市プロスポーツ応援ウィーク」に金沢武士団のホームゲームで遊学館高校吹奏楽部がマーチングを披露する。

日時：平成30年5月4日（金・祝） 午後6時から

場所：金沢市総合体育館

4. アウェイサポーター歓迎についての意見交換会

アウェイ戦で実際に他都市での状況を経験されている地元プロスポーツチームのサポーター等を招き、アウェイサポーターの方への歓迎やもてなしについての意見交換を行い、金沢への再訪を促す取組につなげる。

日時：平成30年4月20日（金） 11時45分から

場所：金沢市役所4階「兼六」会議室

【市長定例記者会見資料】

学生サポートアプリ「かなざわ学さぽ」の充実について
～若者の消費被害の防止のため、消費トラブルのコンテンツを追加～

金沢での学生生活をサポートするため平成29年に開設したスマートフォンアプリ「かなざわ学さぽ」に、消費トラブル予防啓発のためのコンテンツを追加する。

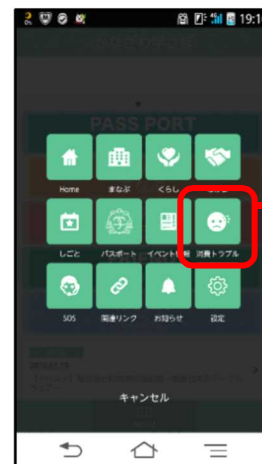
これは、新年度から新たな生活をスタートする学生をはじめ、若者をターゲットとするもので、アプリの利用を介して、若者を狙った消費トラブルの防止に役立てたい。

1. 開始日 平成30年4月13日（金）

2. 内容（構成）

「かなざわ学サポ」既存コンテンツに
「消費トラブル」を追加

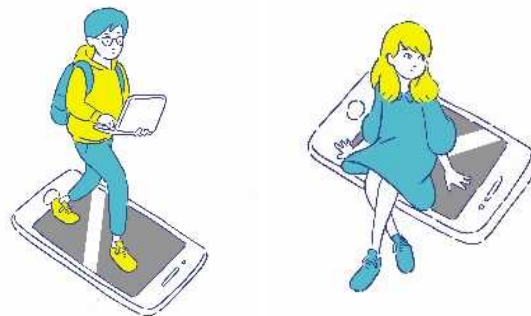
- ・ 不当・架空請求
- ・ アダルトサイト・ワンクリック詐欺
- ・ インターネット通販トラブル
- ・ 対処法（近江町消費生活センターの紹介）



消費トラブル
追加

3. 特徴

若者の共感を得られるよう、
ストーリー仕立てで、具体的な
トラブル事例と対処法を紹介



4. 今後の展開

金融商品やマルチ商法などに関するトラブル事例コンテンツを追加し
内容を充実する予定

【市長定例記者会見資料】

金沢へのロケ地誘致を強化します

撮影に必要な申請手続き等の総合窓口（ワンストップ対応）を開設

これまで、金沢フィルムコミッションがおこなってきた、金沢 21 世紀美術館や金沢駅の鼓門等、市有施設でのロケに必要な申請手続きを、ワンストップで受け付ける総合窓口を広報広聴課内に開設するとともに、金沢フィルムコミッションとの月例会を通じた情報共有などを通して、ロケ地誘致を強化します。

1 目的

(1) 申請手続きの窓口一元化によるロケ支援の充実

ワンストップの窓口を設けることで、金沢フィルムコミッション側の手続き等への負担を軽減し、ロケ隊に対する支援の充実を図ります。

【例】申請手続き等の内容

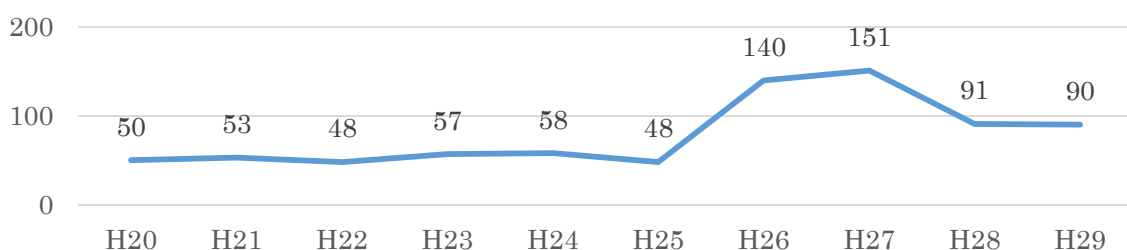
- ・ 金沢駅鼓門使用許可、市道使用許可
- ・ 文化施設等への日程調整
- ・ 東山ひがし等、観光地の紹介など

(2) 首都圏でのプロモーション活動の強化

東京事務所内の金沢営業戦略室に専任の非常勤職員を置き、首都圏におけるプロモーション活動を強化して、ロケ地の誘致を図ります。

(3) 作品情報等の発信強化

ロケ情報や市政情報をシティプロモーション活動における重要な発信ツールと捉まえ、金沢フィルムコミッションと連携を密にして、早期にロケ情報を把握し、その情報や魅力を、市公式ホームページや SNS 等を活用して効果的に発信することで、金沢の知名度向上をめざします。



参考：金沢フィルムコミッション撮影協力件数 年度別内訳（平成 20～29 年度）

人と動物が幸せに暮らすための動物愛護の推進 ～ 犬猫の「殺処分ゼロ」をめざして ～

昨年、施設名称を「動物愛護管理センター」に変更し、犬猫の殺処分ゼロをめざして、ドッグラン金沢の整備やミルクボランティア制度の開始など動物愛護に向けた取り組みを強化した。

1 犬猫の引取等の状況

昨年度、犬 26 頭、猫 57 頭が動物愛護管理センターに収容され、その殆どが新しい飼い主に譲渡された。なお、平成 29 年度の殺処分数は、犬 1 頭、猫 22 頭であるが、その全てが負傷状態で搬入され、自然死したものである。

年度	犬				猫			
	収容数	返還数	譲渡数	殺処分数	収容数	返還数	譲渡数	殺処分数
H16(注 1)	143	57	20	62	689	0	30	665
H25(注 2)	48	34	11	5	249	2	73	174
H28	35	26	7	2	100	2	64	31
H29	26	16	7	1	57	1	38	22

(注 1) 旧小動物管理センターを才田町に開設

(注 2) 改正動物愛護管理法の施行

2 殺処分ゼロに向けた主な取り組み

① 「ドッグラン金沢」の整備

犬の正しい知識と正しいしつけ方を身に付ける場として、平成 29 年 9 月に動物愛護管理センターに「ドッグラン金沢」を整備し、しつけ教室を開催した。

(しつけ教室開催状況)

	第 1 回	第 2 回	第 3 回	計
参加頭数	20 頭	21 頭	19 頭	60 頭

* 78 頭の応募があり、抽選により参加を決定した

(ドッグラン利用状況)

期 間	会員数	延べ利用頭数
H29. 9. 24～H30. 3. 31 (※ H29. 12. 1～H30. 3. 4 : 冬期閉鎖)	72 頭	193 頭

② ミルクボランティア制度の開始

生後間もない子猫の命を救い、譲渡につなげるため、ミルクボランティア制度を開始した。昨年度は、2 名のボランティアにより、計 4 頭の子猫が飼育され、新しい飼い主へ譲渡された。なお、現在も新たなボランティアを募集している。

市長定例記者会見資料
不妊治療に対する支援を拡充します。

1 目的

晩婚化・少子化が進み、6組に1組の夫婦が不妊といわれているが、特に男性の不妊治療に対する制度や情報は決して多くはない。子供がほしいと希望しながら、なかなか妊娠に至らない市民が、適時適切な治療を受けることにより、子供を授かることができるよう、不妊治療に対する支援を拡充する。

2 経緯

男性不妊を中心に効果的な施策のあり方を検討するために、昨年度「男性の不妊治療等に関する施策検討会」（会長：溝上敦金大附属病院泌尿器科教授）を開催し、各種施策の提言を受けたところであり、その提言に基づき、今年度から新たな取り組みを行う。

3 新規施策

（1）不妊検査費の助成（県内初）

より若い世代から治療を開始した方が効果的であることから、不妊治療が必要かどうかを判断するための基本的な検査について、夫婦につき1回限り、検査費用の2分の1で2万円を上限に助成する。

（2）男性不妊治療助成額の上乗せ（県内初）

特定不妊治療（体外受精や顕微授精）に伴い、精子を採取する男性不妊の手術を行った場合の助成額を、初回に限り、国基準の15万円から金沢市独自に10万円上乗せし、25万円に増額する。

（3）不妊治療に関する普及啓発動画の作成配信

若い世代を対象に、より早くから検査や治療を始めてもらうために、不妊治療に関する情報について、動画を作成し配信する。

（4）がん患者の生殖医療に関する検討会

治療により生殖機能を失う恐れのある若いがん患者に対する支援のあり方を検討。

※卵子や受精卵等の凍結にかかる費用の助成など

（滋賀県、京都府、岐阜県で実施）

4 その他（各種データ）

○特定不妊治療助成の実績
（金沢市）

	件数（うち男性不妊）	金額
27年度	833件（3）	118,575千円
28年度	786件（9）	132,829千円
29年度（見込）	900件（7）	137,381千円

○不妊検査や治療経験のある夫婦 18.2%

〔出生動向基本調査（H27）／国立社会保障・人口問題研究所〕